

ま  
ち  
の  
話  
題

まちで見つけた  
ニュースをどうぞ!



このコーナーは、いろいろな出来事や話題を紹介します。皆さんの身近な情報をお寄せください。

〈連絡先〉  
秘書広聴課広報係  
☎22-3281  
☎22-3124  
Eメール info@city.saiki.oita.jp

## 第六回男の港マラソン大会

三月二十日(日)、第六回男の港マラソン大会が、鶴見の吹小学校をメイン会場に開催されました。



勢いよくスタートを切る参加者の皆さん

田ちはるさん(十一歳)、徹也くん(九歳)姉弟が選手宣誓。「九州最東端の地、鶴見で心地よい潮風をあびながら、今日一日を十二分に満喫します」



39歳以下女子5キロの部で入賞した市内観覧の山田千菜美さん(写真中央)

と力強く宣言しました。当日は、あいにくの小雨にもかかわらず、県内外から四百六十人余りが参加。小学生から一般まで、四コース十七部門に分かれ健脚を競いました。

また、百十九人が参加した健康ウォークでは、潮風の中で途中で買ったお土産を手に、子どもと楽しそうに歩く参加者の姿がみられました。レース終了後、参加者は、地元のパランテアが準備したひじきめしや海鮮鍋、ぶりの刺身で昼食。吹浦地区の皆さんによる、アジ寿司やいりこ、ちりめん、干物、みかんなどの地元特産品の販売もあり、会場内は賑わっていました。

## 生産者と消費者がつながって地産地消を進めよう

3月14日、佐伯地区春の地域食材交流サミットがありました。これは、地産地消の意識を高めるため、佐伯地区食料・農業・農村振興協議会が開催したものです。



活発に意見交換を行いました

この日は、市内の農産物生産者、飲食店、消費者の代表者約50人が参加しました。

参加者はまず、市内でハウスみかんやアスパラガスを生産している農家を見学。続いて、JA佐伯豊南本店に場所を移し、それぞれの立場から、食の安全性や地産地消についての考えや意見を出し合い、交流を深めました。今後も、定期的に交流会を開催する予定です。

## 電話お願い手帳とふれあい速達便の寄贈がありました

三月一日、NTTマーケティング中九州の石橋支店長とNTT西日本大分支店佐伯営業所の吉良所長が市長室を訪れ、耳や言葉の不自由な人のコミュニケーション手段として活用してもらおうと「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便」を市に寄贈しました。



どうぞご利用ください

「電話お願い手帳」は、耳や言葉の不自由な人が外出先で電話をかける際、用件や連絡先などを書いて、近くの人にお願いするときなどに利用し

ます。毎年、利用者の意見を取り入れ、改良を重ねています。今年から、コミュニケーションをよりスムーズに行える「お願いカード」が、新しく付け加えられました。

この手帳は、一緒に寄贈されたファックス送信用紙「ふれあい速達便」とともに、市役所本庁の障害福祉係と高齢者福祉係の窓口で、希望する人に配布しています。

▽問い合わせ：社会福祉課障害福祉係(☎22-3971)

## 今年も来てくれてありがとう!「おかえりマンボウ」



みんなで楽しく餌付けをしたよ!

三月十日、大分県マリンカルチャーセンターで、マンボウを歓迎するセレモニー「おかえりマンボウ」が開催されました。セレモニーには、河内小学校の全校児童三十二人が参加しました。

マンボウの餌付けに挑戦しました。餅つきもあり、例年にも増して楽しいセレモニーとなりました。☆マンボウを見においでよ! マンボウは六月下旬まで、同センターのプールで公開されています。時間：九時三十分～十七時 入場券：大人二〇〇円、中高一〇〇円、幼児五〇円(宿泊者は半額) ※海洋科学館の入場券で見学ができます。

▽問い合わせ：大分県マリンカルチャーセンター(☎22-1311)

## 蒲江の漁業青年部連絡協議会が水産庁長官賞を受賞



(写真左から) 漁業青年部連絡協議会の川瀬学之さん、山田一幸さん、小野宗一郎さん

三月七日と八日の二日間、「第十回全国青年・女性漁業者交流大会」が東京都で開かれ、その中で蒲江の漁業青年部連絡協議会が「水産庁長官賞」を受賞しました。

この大会は、水産業や漁村を発展・活性化させるための技術や知識などの研さんを目的に、全国から青年・女性漁業者が集まり、日ごろの研究・実践活動の成果を発表するものです。大会初日に、同協議会副会長の山田一幸さんが、「多面的機能・環境保全部門」で、「環境にやさしさを!地域に元気を!」と題して発表を行いました。